

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稲が主体の中山間地域であり圃場整備事業により優良農地が多い地区
- 地域の少子化、高齢化により農業の後継者が減少しているため、担い手への農地の集積等を進めていく必要がある地区

【支援内容・背景】

- 担い手への農地の集積等に伴う経営規模拡大に対応した効率的で安定した農業経営を継続して支援することが必要。
- 助成対象者は、地区の中心経営体として地区内の農地の集積等を行い、経営面積を拡大。規模拡大による作業の効率化を図るための農業用機械の導入を支援することで、今後の地域の担い手として育成・支援する。



助成対象者「株式会社農弘社」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成30年 営農開始
- 平成30年 法人化(株式会社)
- 平成30年 経営改善計画認定
- 令和5年 経営改善計画再認定

《事業活用の背景》

○ 地域の農業の担い手として、経営面積の拡大を継続していくためには農作業の効率化や低コスト化に取り組むことが必要。経営面積の拡大に向け、耕起、防除作業等の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R元年度〉

- 付加価値額 9.0百万円
- 経営面積 31.96ha

《事業による整備内容》

- 水稲育苗播種用機械 一式
事業費 5,655千円
(国費 1,197千円)
- トラクターアタッチメント一式
事業費 1,842千円
(国費 502千円)
- 籾摺機 一式
事業費 2,740千円
(国費 747千円)
- 水稲防除機(ドローン) 一式
事業費 1,559千円
(国費 425千円)



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

- 付加価値額19.9百万円(221%)
- 経営面積 53.4ha(167%)

事業の
効果

《対象者》 助成対象者への農地集積等により経営面積が拡大、導入機械による農作業の効率化及び低コスト化を実現し、付加価値額の増加を実現。

《地区》 安定的な農業経営により、後継者が不足する地区の重要な担い手として育成・確保することができた。